



最近、X(旧 Twitter)でおうち英語における重課金が話題になっていましたね。

たまには私もタイムリーな話題で書いてみようということで、  
私がこれまで20年間おうち英語に取り組んで感じてきた  
【おうち英語とお金の話】をぶっちゃけ書いてみようと思います。

そもそも人の価値観というのは【お金】と【教育】に大きく出ると  
日頃から感じている私としては、  
おうち英語における課金というのは、  
モロそれぞれの個人の価値観の反映に過ぎないと思っているので、  
どちらがいいともどちらが悪いとも思いません。

というか、そもそもどっちでもいいですよ(笑)

自分が納得してお金を遣えてたらそれでいいじゃないかと。

まあ、でもいつか「おうち英語とお金の話」書いてみたいと思っていたので、  
せっかくのなのでこの話題に乗ってみようと思います♪

#### ■目次

- 私は重課金勢
- 低課金、重課金、みんな違ってみんないい
- どこに課金するかが大切
- コンプレックス産業への課金には注意して
- 皆様に課金していただく側としても一言

#### ●私は重課金勢

まず自分のポジションを明確にする必要があるかと思いますが、  
わが家のおうち英語は【重課金勢】です。(言い切る)  
もちろん一口に<重課金>と言っても、  
人それぞれ金銭感覚や経済状況が違うため、  
人からしたら「そんな金額大したことないじゃないですか?!」  
と言われてしまうかもしれませんが、

一般サラリーマン家庭のわが家の家計からすれば立派な重課金でした。  
某ネズミー系教材もフルセット購入していますし、  
オンラインレッスン、多読素材、DVD などの購入総額はゴニョゴニョ・・・。  
家計簿なんか付けたこともないズボラ人間の私は知る由もない。。。  
わが家の裏金として処理されているので家族の誰も知らない www  
すでに闇に葬っているので、  
自民党の裏金問題のように問題として取りだたされることもないでしょう。(安心)

その重課金勢の私から何かコメントすることがあるとすれば、  
【たくさんお金は使いましたが、別に何も後悔してないです💎】  
ということぐらいでしょうか。

おうち英語に投資した分で  
確かに高級車1台くらい買えちゃったかもしれませんが、  
車なんて5,6年乗れば価値もダダ下がりですし、別に私は車には興味もなく・・・。

その当時の私の趣味がおうち英語だったので、  
趣味に課金しただけでのこと、という感じです。清々しいね!

●低課金、重課金、みんな違ってみんないい  
個人的にはおうち英語にお金を掛けたので、  
私は課金する方法しか知らないとも言えますが、  
今の時代は工夫と手間を掛ければ低課金でも  
それなりの成果に持って行ける環境は整っていると思います。

素材はネット上にゴロゴロ転がっているので、  
時間を掛けてそれらを取捨選択していけば、  
良質なインプット素材を無料で手に入れることも十分可能かと。

ただそれらは一ヶ所まとまっているわけではないですし、  
海外サイトにまで検索の幅を広げる必要もあり、  
なかなか情報収集に時間は要するでしょうね。

これはおうち英語に限った話ではなく、  
「時間を買う」という考え方をするかどうか、  
という価値観に寄るのかも。

本当にそれは人それぞれですよ。

私はおうち英語に限らず、「時間を買う」派なので、  
時短になるものには飛びつく傾向があります。  
お掃除ロボット・ルンバも初代から手を出しましたし(^^;

時間を節約するという考えだけでなく、  
「プロに頼んだ方がいい」ことがあることも体験から痛感しております。

わが家にはトイ・プードルがいるのですが、  
トイ・プードルって毎月カットしないと毛が伸び続けてしまうんですよ。  
そのカット代が本当に高くして!  
そこで1回のカット代が電動バリカン購入費と同じであることに気付いた私は  
電動バリカンを購入し、YouTube 見ながらやってみたんです。

ええ。結果は皆さんが想像されている通りですよ。

「この犬何?」という貧相なスタイルになり、  
それから一ヶ月誰が散歩に連れていくか  
家族で押し付け合いになりましたね。  
道具さえ手に入れたら素人がなんでもできると思っちゃダメですね、ホント……。

なんか、話逸れてますね……。

話を戻しますが、  
おうち英語に限らず、器用で時間もあって  
何事もお金を掛けずにできる方はラッキーということですし、  
私のような価値観の持ち主だったり、不器用すぎて自分でやることで  
深いダメージを負ってしまう(犬が)場合は課金するしかないと思うんですよね。

おうち英語においても、私の英語の怪しさたららないので、そこは課金一択でしたね。

重課金勢の私にとっての悩みは、  
どこに限られたお金を課金していくか、ということでした。

必要な物にお金を遣うことは惜しくないですが、  
世の中、「安かろう悪かろう」でもないし、  
そのまた逆然り、「高かろう良かろう」でもないんですよ。。。

株式投資と同じでちゃんとしたところに投資しないと、  
何も得られずお金が紙屑になってしまうことも現実にはありますし。

他の表現も借りるなら、  
「地獄の沙汰は金次第」と言いますが、  
おうち英語地獄において確かにお金も重要なアイテムではありますが、  
やたらめったらお金を遣ったからといって必ずしも天国行ける保障はないような・・・。

### ●どこに課金するかが大切

有名教材のD●Eにも手を出し、  
その後も高レビューに惹かれて絵本やDVDなどを数多衝動買いし、  
多くの死蔵教材を抱えることになった私が言えることか?!という感じですが、  
何も考えずに無暗矢鱈課金してきたわけではない、特にサービス関係には、と思っています。

サービス関係で私が重課金してきたのは、オンライン英会話です。

英語に自信がない私には、  
自分がわが子に英語で語りかけるなんて暴挙に出ることは考えられなかったため、  
オンライン英会話なしにはアウトプット環境の整備は考えられず。

わが子のアウトプットはすべてオンライン英会話に丸投げしたと言っていい状態で、  
娘が4歳の時にオンライン英会話をスタートしてから、  
中学校に入る頃まで、平日はほぼ毎日オンラインレッスンを入れてました。

その後はペースは落ちれど、大学生になった今でも続けていますし、  
下の息子も同じようにやらせていますので、  
金額的にはなかなかの額を投資したと思っています。。

そして、このオンライン英会話の課金先にはかなり拘ったつもりです。

というのも、  
私は3年前まで高校で非常勤講師として働いていたのですが、  
常に心の奥底で  
「私なんか英語能力が低い人間が普通に学校で英語が教えられるなんて・・・」と  
自分の存在が他のサービスにも不信感を抱かせるという疑心暗鬼ぶり。。

そんなわけで英語を看板に掲げているからと言って  
安心して課金するなんてことはできず。。

「内容はとくと吟味させていただきますよ!」  
(英語できんくせに偉そうに...)というスタンスでした。

当時は自分でスクールをやっていたわけではないので、  
自分の理想とするスクールを求めて渡り歩いてましたね。

オンライン英会話の良いところはいつでも親である私が  
内容をチェックできたところです。

子どもがレッスンを受けている背後で  
画面に映らぬアングルから仁王立ちで見学する私。  
たぶん画面の向こうにも殺気は伝わっていたんじゃないかと思うwww

求めているサービスと違う、あまり良い内容・先生じゃないな、と思った時は、  
躊躇なく切り捨ててました。

対面のお教室だったりすると辞める時に挨拶したりしないといけないので、  
そんなところもオンラインは無礼な私にピッタリだったかも。。。

こんな感じの私の重課金歴ですが、  
こだわって課金してきたつもりなので後悔はしてないですね。

もちろん死蔵教材を五万と買ってしまったので、  
「やってしまった!」と思うことはありますが、  
それは買わなきゃわからなかったことなのでそれもまた良し、です。

今、替え歌にハマっておりますが、  
「死蔵、死蔵、死蔵教材」とネタにできているのでオイシイくらいです。

それに「人間、やらなかった後悔の方が大きい」と言いますので、  
「やってしまった後悔」なんて気にしない、気にしない ✨

今、おうち英語されている方に伝えたいことがあるとすれば、  
予算内に収めることは大切なことですが、  
もし気になる教材やサービスがあるなら試してみるの  
悪いことじゃないと思っています。

後悔するくらいなら清水の舞台から飛んじやいなよ!とは思います。(死なない程度で)

しかし、老婆心ながら思うことは、  
最近はおうち英語関連サービスにも  
コンプレックス産業の視点が持ち込まれているんじゃないか・・・ということです。

●コンプレックス産業への課金には注意して

残念ながら日本では英語はコンプレックス産業の一つになっています。

コンプレックス産業とは、  
顧客の「劣等コンプレックス(→ 劣等感、外見・内面の問題)」を刺激し、  
それに対する対価を得ようとする産業のことです。

有名なところではダイエットなど。

私がわが子におうち英語を始めたのも、  
立派な自分のコンプレックスが動機にあるので、  
コンプレックス産業に課金してきたと言えなくはないですが、  
私が最近思うところ、  
おうち英語の中にもコンプレックス産業ジャンルが出来つつあるのではないかと・・・ということです。

コンプレックス産業の中にまたコンプレックス産業という複雑な図式・・・。

おうち英語の中のコンプレックス産業、、、

取り組みが長くなるおうち英語、  
いつも順風満帆に行くわけではありません。

スランプに陥ってしまうような時もありますよね。

SNSの発達で、  
自分の子どもの年齢と変わらぬ子たちの輝かしい実績を  
見かける機会も昔に比べると増えたのではないかなと思います。

親も人なり。

そんなキラキラ投稿を見たら  
「どうしてウチの子は・・・」「私のやり方が悪いのかな・・・」とってしまい、  
焦ったり落ち込んだりしますよね。

そこに「この方法でやれば絶対大丈夫」などと  
情報商材系の話が舞い込んでくると、  
多少高額でも藁にでもすがる思いになってしまうのが人の性・・・。

私の自分の子育てサンプルは2人ですが、  
娘と息子ではおうち英語のアプローチ、過程は見事に全く違いましたし、  
オンライン英会話スクールの運営に10年携わってきて、  
多くのおうち英語っ子の成長を間近で見させてもらってききましたが、  
やはりその子その子ですべて違います。

未だに万人に有効だと思われるノウハウを見つけ出すことはできていませんし、  
この先も無理だと諦めています。

そもそもおうち英語は一人一人の個性・趣向に  
細かく合わせていってあげられるところが良さだと思っていますので、  
その調整を考慮せず、  
一つの雛形・やり方で量産していくことは不可能なのではないか・・・と。

私が主催する Englishbuds にはカリキュラムさえありませんが、  
それはそういう思いの反映でもあります。

そういうスタンスで日頃おうち英語と関わっている者からすると、  
最近のおうち英語を謳うサービスの幾つかには疑問を感じたり、  
それに課金してしまう人の行く末を少し心配してしまったりするのです。

ちょっと足元見過ぎじゃない？弱みに付け込んでない？と。。

完全な老婆心ですが・・・。

またこの重課金・低課金が話題に上ることの一つの側面として、  
互いがマウントを取り合う負の面もあるのではないかなと経験上思ったりします。。

この重課金トピック、  
私がおうち英語に全盛期で取り組んでいた頃から  
チョイチョイおうち英語界隈で話題として出ている記憶があります。

そこは D●E ユーザーさんが多く集まるコミュニティでしたが、  
ユーザーでない方も時々入ってきて

「そんな教材にそんなにお金を払うなんていかなものか。」

「そんなに課金しているのにその程度？」

「それだけ課金してたらその結果は当たり前でしょ」

というような、

本来のおうち英語から逸脱したところで話がヒートアップして、  
不毛な議論の応酬になっているのを見かけた記憶も…。

「お金と教育は人の価値観が色濃く反映される場所だと思っている」と

今日の投稿の冒頭に書かせていただきましたが、

おうち英語はその2つが濃厚に重なって出てくるジャンルだとも感じています。

そして、そこに「英語が話せると賢い」というイメージも加わってきて、

もうおうち英語の話飛び越えて、メンタルがドロドロの昼ドラ状態になってしまったり…。

実はこの課金をめぐる話って

単純な「お金いくら使ってる？」という表面的な話ではなく、

妬み嫉みなどおどろおどろしいところに通じている

裏もあるのではないかと…とったり。

きゃー、怖いよー！

しかししかし、おうち英語=育児の期間って思っているより短いです。

子どもの成長を見守れる子育て期は

人生で一番やりがいを感じられ、楽しい時期であるもの。

おうち英語を実践するということは、

その子育て期すべてにおうち英語が重なっていくということです。

おうち英語を楽しんで実践できれば、

子育てはより楽しいものになりますが、

おうち英語を辛いものにしてしまえば、

子育て自体も辛いものになってしまうのではないかと。

つまりマウント合戦に明け暮れて

子育て期間を応仁の乱みたいにしてしまうのは

実にモッタイナイことなんだと思います。

ついついババアは心配になってしまってこんな note を書いてみたりしました。

● 皆様に課金していただく側としても一言

人生は数奇なもので、  
いつの間にか私は  
オンライン英会話スクールを運営し、  
皆様に課金していただく側になりました。

スクールを運営する側に立って感じるお金というのは、  
うまく回せば幸せの循環を作ることができるなあということです。

Englishbuds は講師がフィリピン人のわりに  
他のスクールに比べてレッスン料が少しお高め設定になっているかもしれません。

その理由は他のスクールのフィリピン人講師への報酬よりもずっと  
高く設定しているためです。

私は Englishbuds を作った時から、  
絶対に誰かを搾取するようなことはしたくない、と思ってきました。

フィリピンの先生にアルバイト感覚ではなく、  
しっかりと腰を据えてプロとして働いてもらえるように待遇を厚くすること、  
そしてそれが最終的にはレッスンを受けてくださる会員様の利益となると信じて、  
ずっと Englishbuds を運営してきました。

なじみの先生とずっとレッスンを受けられること、  
成長を見守ってもらえること、  
信頼関係を築けること、などなど、  
英語のレッスンにそのような付加価値もお届けできているので、  
皆様にご満足いただけているのではないかなと感じています。

そのような理由で  
Englishbuds は価格競争に参加して安さをウリにすることはありませんが、  
おうち英語は長いスパンで投資を続けていくことが必要ということは  
長年の経験で知っていますので、  
とんでもない高い価格設定にして儲けてやろう!とも思いません。  
誰も搾取しない適正価格で運営を続けていかなければと考えています。。。

お金は天下の回りもの。

上手く使えば人生に喜びをもたらしてくれます。

おうち英語においても上手くお金を使っていきたいものですね。

私もまだまだ英語に投資して経済を回していきたいと思います！

重課金女王健在 [www](#)

note 2024年3月7日投稿 おうち英語とお金の話♪より引用